

施策番号	2105		
施策名	まちづくりを支えるしくみづくり		
概要	さまざまな地域でそれぞれの地域特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、まちづくり活動支援やしくみづくりを推進する。また、（公財）京都市景観・まちづくりセンターと連携して情報発信、相談事業等の支援を行う。		
担当局・部室	都市計画局・まち再生・創造推進室	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン，職住共存地区整備ガイドプラン， 新・京都市南部創造まちづくり推進プラン， らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	地区計画，建築協定及び景観協定の締結数（件）	d	a	141	147	4件増	150.0%	a	1.00
2	景観・まちづくりに関する相談件数（件）	b	c	871	805	795	101.3%	c	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		c	b					b	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	身近な地域で，自主的なまちづくり活動が進んでいる。	c	c	43 6.7%	164 25.7%	295 46.2%	89 13.9%	47 7.4%	638	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		c	c							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	C	令和元	C	令和2	C	施策の目的がそこそこ達成されている
重み付け	☐ 客観指標	客観指標は地区計画等の締結数及び景観・まちづくりに関する相談件数としており、少なくともこれらの対象となる地域では地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化が展開されていると判断されるが、全ての地域の自主的なまちづくり活動を捕捉したものではないため、全般的な状況が捉えられる市民生活実感調査を優先している。				
	☒ 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

・市内各地で都市計画手法の活用を含めた多様な施策を総合的に推進しており、それに伴い各地域で自主的なまちづくり活動が行われているが、まちづくり活動に関心のある一部の市民にとどまっており、現在のところ市民の実感を得るには至らず、昨年度に引き続きc評価となっている。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・自主的なまちづくり活動をこれまで以上に進めるため、地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、引き続き、（公財）京都市景観・まちづくりセンターや各区役所と連携して、まちづくりに関する情報提供、まちづくり活動の支援や仕組みづくりを推進していく。
- ・（公財）京都市景観・まちづくりセンターと連携しながら、職住共存地区に限らず市域全体を対象に、まちづくりビジョンの作成や、都市計画手法の活用を念頭に置いた地域まちづくり支援を行う。

施策名	2105	まちづくりを支えるしくみづくり				
指標名	地区計画、建築協定及び景観協定の締結数（件）					
担当課	まち再生・創造推進室		連絡先	2 2 2－3 5 0 3		
1 指標の説明						
地区計画、建築協定及び景観協定の締結数						
2 指標の意味						
地域の魅力の高まりにつながる地域まちづくり活動の活性化状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	141	147	6件増	4件増	令和2年度の目標達成のために当年度達成すべき数値（平成23年度から155件の締結を達成するため、年平均3.2件以上締結）	150.0%
	全国順位	中長期目標				備考
	数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	-		-			
5 評価基準						
前回数値と比較し、 a：4件以上増 b：3件増 c：2件増 d：1件増 e：0件以下						
6 基準説明						
・目標値を達成すればa評価 ・以下1件刻みでb～e評価 ※なお、協定の更新に伴い複数の地区を統合した場合、地区数が減少することになるが、協定の区域は変わらないため、地区数の減はカウントしない。						
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
d	a	a				

指標名	景観・まちづくりに関する相談件数（件）					
担当課	まち再生・創造推進室		連絡先	2 2 2－3 5 0 3		
1 指標の説明						
（公財）京都市景観・まちづくりセンターで受け付けた景観・まちづくり活動相談及び京町家なんでも相談の合計件数						
2 指標の意味						
市内各地域における地域まちづくりの機運の高まりを示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	871	805	66件減	795	平成19年度以降の年間相談件数の平均値	101.3%
	全国順位	中長期目標				備考
	数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	-		-			
5 評価基準						
目標数値と比較し、 a：130%以上 b：110%以上130%未満 c：90%以上110%未満 d：70%以上90%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
・目標値に対する達成度が100%の場合をc評価の中心と設定 ・20%刻みでa～e評価						
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
b	c	c				